

(別紙様式4)

## 職業実践専門課程の基本情報について

平成28年10月1日現在

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
国際医療福祉専門学校 七尾校		平成19年3月27日	宇野 弘之		〒926-0816 石川県七尾市藤橋町西部1番地 (電話) 0767-54-0177	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 阿弥陀寺教育 学園		昭和61年3月17日	宇野 弘之		〒290-0011 千葉県市原市能満字崩山1554-4 (電話) 043-208-1600	
目 的	突然の病気や事故、災害などの際、救急現場や救急車の中で行われる医療処置がプレホスピタル・ケアであり、その担い手が救急救命士である。傷病者の状態をいち早く的確に把握し、医師の指示のもとに救急救命措置を行うことができる救急救命士は、救急医療の現場で極めて重要な役割を担っている。当科では3年間でより深い知識と技術を学ぶとともに実習に力を入れて教育する。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門課程	救急救命学科	3年(昼)	2505 時間 (92 単位)	平成21年文部科学省 告示第21号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1380 時間 (66 単位)	0 時間 (0 単位)	0 時間 (0 単位)	1125 時間 (26 単位)	0 時間 (0 単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
105 人		33 人		2 人	25 人	27 人
学期制度	■前期： 4月1日～9月30日 ■後期： 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ) ■成績評価の基準・方法について 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者は、その科目については評価を受けることができない。	
長期休み	■学年始め：4月4日 ■夏 季：8月13日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月3日 ■学 年 末：3月4日～4月3日			卒業・進級 条件	全科目単位認定(92単位、2505時間)を受け、かつ校長が卒業を認めたもの。	
生徒指導	■クラス担任制 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ) ■長期欠席者への指導等の対応 定期的に面談を実施し、長期欠席時においても学生の状況等の把握に努め、学生の課題の解決への支援を行っていく。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動、地域交流活動 ■サークル活動 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )	

<b>主な就職先</b>	<b>■主な就職先、業界</b> 消防署、自衛隊、病院 <b>■就職率*<sup>1</sup></b> 60.0 % <b>■卒業者に占める就職者の割合*<sup>2</sup></b> 78.5 % <b>■その他</b> 就職以外は資格取得等 (平成27年度卒業生に関する平成28年6月時点での情報)	<b>主な資格・検定</b>	救急救命士国家試験受験資格 初級障害者スポーツ指導員資格 日本赤十字社 救急基礎講習 修了
<b>中途退学の現状</b>	<b>■中途退学者 名 ■中退率 %</b> 平成27年 4月 1日在学者 32 名 (平成27年 4月入学者を含む) 平成28年 3月31日在学者 32 名 (平成28年 3月卒業生を含む) <b>■中途退学の主な理由</b> 成績不振、進路変更 <b>■中退防止のための取組</b> ・入学後早期の合同合宿などの行事による学生間交流の促進を図る ・年5回(4月、6月、9月、11月、2月)の定期的な学生個人面談の実施による密な学生把握		
<b>ホームページ</b>	URL: <a href="http://www.kifs-nanao.ac.jp/">http://www.kifs-nanao.ac.jp/</a>		

\* 1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就業者の割合をいい、調査時点における就職希望者数で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者数」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

\* 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、史学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

\* 2 「学校基本調査」定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者としてしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育理念は、教育基本法及び学校教育法に基づき専修学校教育を行い、専門職として必要な知識及び技能を教授し、社会に貢献できる人材を育成することである。救急救命学科は、上記の教育理念に則り、現状に沿った最新の専門知識・技術等の習得、地域社会を視野に入れた専門性の獲得を目的として非常勤講師の専門授業や臨床現場での学外授業を積極的に展開するとともに、学生の勉学に対する内発的動機を高められる授業内容・方法の検討を基本方針とする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 10 月 1 日現在

名 前	所 属
三和勘太	国際医療福祉専門学校七尾校・副校長
泉和志	国際医療福祉専門学校七尾校・救急救命学科副学科長
梅木 勇	七尾鹿島消防本部 次長
山森 仁一朗	七尾鹿島消防本部 主幹 (救急救命士)

### (開催日時)

第1回教育課程編成委員会	平成 28 年 9 月 15 日 11:00~12:00	実施
第2回教育課程編成委員会	平成 29 年 2 月 23 日 11:00~12:00	実施予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

現状に沿った最新の専門知識・技術等の習得、臨床現場を想定した応用力の習得、臨床現場や対象者との関わりをととした臨床イメージの構築の機会を学生へ提供できるように、病院・施設との連携を密におこなっていく。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
救急車同乗 見学実習Ⅰ	45 時間内の 9 時間、消防署実習を行い、救急車同乗見学を通して消防署職員としての救急救命士の役割・基本的態度、緊急時の対応等を見学する。その他、メディカルラリー、救急救命選手権見学を行う。	七尾鹿島消防本部、羽咋郡市広域圏事務組合消防本部、内灘消防本部、奥能登広域圏事務組合、射水市消防本部 他
救急車同乗 体験実習Ⅱ	1 週間の消防署での救急車同乗体験を通して、消防署職員としての救急救命士の役割・基本的態度、緊急時の対応等を習得する。	七尾鹿島消防本部、羽咋郡市広域圏事務組合消防本部、大野市消防本部、津幡町消防本部、小松市消防本部 他
臨床見学実習Ⅰ	2 週間の救命救急病棟見学を通して、医療従事者としての基本的態度を身につけ、救急救命士の病院における役割、他の医療従事者との関わりを学ぶ。	恵寿総合病院、金沢大学付属病院、公立能登総合病院
臨床体験実習Ⅱ	3 週間、救命救急病棟にて医療的行為の体験することによって、救急救命士の行うことができる医療技術を身につけ、大量従事者とのチームアプローチを習得する。	恵寿総合病院、金沢大学付属病院、公立能登総合病院

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

本校の職員研修規程は、国際医療福祉専門学校七尾校就業規則第 8 6 条の規定に基づき、職員に現在就いている職又は将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他その遂行に必要な職員の能力、資質等を向上させることを目的とする。また、研修の効果を高めるために計画的な研修実施及び研修報告をおこない、職員全体の自己啓発の意欲の向上を図る。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年10月1日現在

名 前	所 属
中川忠司	七尾市役所 健康福祉部福祉課 次長
奥井敦士	社会福祉法人七尾市社会福祉協議会
椿原達也	医療法人社団持木会 柳田温泉病院 (理学卒業生、同窓会長)
伊藤邦夫	理学保護者、後援会長
橋向正人	公立能登総合病院 (理学卒業生)
加藤孝之	富来病院 (作業卒業生、同窓会副会長)
大松大洋	各務原市消防 (救命卒業生)
法栗未来	公立つるぎ病院 (介護卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.kifs-nanao.ac.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.kifs-nanao.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程救急救命学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			生命倫理学		1 前	15	1	○		
○			心理学入門	人間の心のしくみと行動を通して、人間理解の基礎を学ぶ。	1 前	15	1	○		
○			教育学	職業人として、必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて伝達できる能力を身につける。	1 前	15	1	○		
○			英語会話	様々なテーマについて、賛成、反対の英語表現を学ぶとともに、自分の意見をまとめ、相手の意見を理解する練習を通して、ディスカッションやディベートができるようにする。	1 前	30	2	○		
○			医学英語	臨床で使われている医学用語を学ぶ。	1 後	15	1	○		
○			運動科学	人間にとって運動の必要性和スポーツがからだに働きかけてその能力を考えていく知識、方法等を科学的な事実を通して学んでいく。	1 前	30	2	○		
○			運動科学実習	生活に必要な基礎体力を養い、運動する上での必要な持久力、スピード、筋力を高める。また、運動を通して協調性を養い、円滑な人間関係を築くことができるように授業を実施する。	1 後	30	1			○
○			就職対策講座Ⅰ	公務員試験に向けて、着実に実力が付くよう概説する。	1 後	30		○		
○			就職対策講座Ⅱ		2 前	30		○		
○			公務員試験対策講座Ⅰ	最近の出題傾向を中心に地方初級試験に的を絞り着実に実力が付くよう概説する。	2 後	60	4	○		

○			公務員試験対策講座Ⅱ	最近の出題傾向を中心に地方初級試験に的を絞り着実に実力が付くよう概説する。	3前	60	4	○		
○			情報科学	基本的なパソコンの設定から電子メール、ワープロ、表計算、プレゼン等のアプリケーションソフトの使い方を学び、電子カルテの基本的な操作まで学ぶ。基本的なマナーを確認しながら授業を進める。	1前	30	2	○		
			基礎数学		1前	15	1	○		
		○	解剖学	解剖学のはじめとして、人体の基本的構造と機能を理解する。	1前	30	2	○		
○			生理学	生理学として人体の機能及び心身の発達に関する知識を理解する。	1後	30	2	○		
○			検査学	画像診断を行うための様々な検査法（単純・造影X線写真、CT、MRI、超音波検査、血管撮影など）の原理と臨床応用の実際について学ぶ。	2前	15	1	○		
○			病理学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。	2前	30	2	○		
○			薬理学	薬物作用、作用機序、治療的応用性などを明らかにすることによって、薬物治療における適切な医薬品の選択、適正な用法の基礎を理解すること。	2前	30	2	○		
○			感染症学	疾患の成り立ちと回復の過程を理解する。また、死の概念、判定（診断）を理解する。	2後	15	1	○		
○			公衆衛生学	公衆衛生に関わる法規、行政機関や救急救命士法に関わる法規を学ぶ。	1後	15	1	○		
○			保健医療福祉概論	日本国の社会保障制度や社会福祉制度、ボランティアについて学習する。	1後	15	1	○		
○			救急医学概論Ⅰ	生命倫理やインフォームドコンセント、わが国における救急医療体制、救急活動を学び救急救命士の役割と責任を考える。また、救急救命士として基礎的な全身所見の観察から、局所所見の観察を学習する。	1前	60	2	○		

○			救急医学概論Ⅱ	傷病者管理における、観察能力の基礎を学ぶ。救急救命士として必要な知識を習得し、傷病者管理の際に必要な、考察能力の向上を目指す。	1 後	60	2	○		
○			救急医学概論Ⅲ	傷病者管理における、各種処置の基礎を学ぶ。救急救命士として必要な知識を習得し、傷病者管理の際に必要な、各種処置の知識向上を目指す。	2 前	60	2	○		
○			救急医学特論	国家試験過去問題を中心に解説し、より救急医学概論分野の理解力を深める。	3 後	60	2	○		
○			救急症候・病態生理学Ⅰ	病態のなかで出現してくる様々な症状を、病態生理学を通して学び、観察のポイントや応急処置、搬送時の注意を理解し救急活動に生かす。	1 前	60	2	○		
○			救急症候・病態生理学Ⅱ	病態のなかで出現してくる様々な症状を、病態生理学を通して学び、観察のポイントや応急処置、搬送時の注意を理解し救急活動に生かす。	1 後	30	1	○		
○			救急症候・病態生理学Ⅲ	病態のなかで出現してくる様々な症状を、病態生理学を通して学び、観察のポイントや応急処置、搬送時の注意を理解し救急活動に生かす。	2 前	60	2	○		
○			救急症候・病態生理学Ⅳ	病態のなかで出現してくる様々な症状を、病態生理学を通して学び、観察のポイントや応急処置、搬送時の注意を理解し救急活動に生かす。	2 後	60	2	○		
○			救急症候・病態生理学特論	国家試験過去問題を中心に解説し、より救急症候・病態生理学分野の理解力を深める。	3 後	60	2	○		
○			内部障害学	消化系疾患の発生機序、病態、症状、所見等を理解し、救急活動に反映する。	2 前	15	1	○		
○			発達障害学	小児疾患の理解に必要な、基本的な症候や疾患の知識について学ぶ。	2 前	15	1	○		
○			精神障害学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。精神疾患を学び、救急活動に反映させる。	2 前	15	1	○		
○			骨関節障害学	医療専門職に必要な整形外科的知識を、各論を通して、その病態と診断、治療について学ぶ。	2 前	15	1	○		

○		神経筋障害学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。脳神経系に生じる各種疾患について概説する。	2 前	15	1	○		
○		疾病救急医学特論	国家試験過去問題を中心に解説し、より疾病救急医学分野の理解力を深める。	2 前	60	4	○		
○		外傷救急医学Ⅰ	JPTECにおけるガイドラインを理解し、プラチナタイム・ゴールドエンアワーの重要性を学習し、PTDの撲滅に繋がられるよう系統的に学習する。	1 後	60	2	○		
○		外傷救急医学Ⅱ	外傷における二次災害の危険を学ぶ。また、外傷性ショックを理解し、現場活動のスキルを学ぶ。外傷における緊急度・重症度の判断を行い、処置・搬送のスキルを学ぶ。	2 前	30	1	○		
○		外傷救急医学Ⅲ	成人の外傷から始まり、特殊な環境(妊婦・小児・高齢者)などの外傷学を学ぶ。また、熱傷や化学損傷などの特別な外傷学を学ぶ。	2 後	30	1	○		
○		外傷救急医学特論	国家試験過去問題を中心に解説し、より外傷救急医学分野の理解力を深める。	3 後	60	2	○		
○		環境傷害・急性中毒学	多様な中毒症状や、あらゆる環境障害を理解し、救急活動に生かす。	2 後	30	1	○		
○		基礎演習	習得した知識を、実際に資器材を使用し、的確に実践できるよう基礎的能力を身につける。	1 前	45	1			○
○		応急処置Ⅰ	習得した知識や救急隊員(救急標準課程)として必要な技術を病院前救護において実践できるよう基礎的能力を身につける。	1 前	90	2			○
○		応急処置Ⅱ	習得した知識や救急救命士として必要な技術を病院前救護において実践できるよう基礎的能力を身につける。	1 後	90	2			○
○		救急救命処置Ⅰ	総合シミュレーションに向けた接遇・基本手技の基礎を確実に身につけ、救急現場活動に生かせる技術習得を目標とする。	2 前	90	2			○
○		救急救命処置Ⅱ	迅速・確実なシミュレーション活動を身につけ、救急現場で生かせる技術を身につけることを目標とする。	2 後	90	2			○

○		救急車同乗見学 実習 I	消防署での救急車同乗見学、メディカルラリー、 救急救命選手権を通して、救急救命士の役割・基 本的態度、緊急時の対応等をイメージする。	1 後	45	1			○
○		救急車同乗体験 実習 II	1週間の消防署での救急車同乗体験を通して、 消防署職員としての救急救命士の役割・基本的態 度、緊急時の対応等を習得する。	2 後	45	1			○
○		救急車シミュレ ーション実習	救急車内の機材・装備を理解し、救急車内でス ムーズに救急活動ができるようにする。	3 後	135	3			○
○		臨床見学実習 I	2週間の救命救急病棟見学を通して、医療従事者 としての基本的態度を身につけ、救急救命士の病 院における役割、他の医療従事者との関わりを学 ぶ。	2 後	90	2			○
○		臨床体験実習 II	3週間、救命救急病棟にて医療的行為の体験する ことによって、救急救命士の行うことができる医 療技術を身につけ、大量従事者とのチームアプロ ーチを習得する。	3 前	135	3			○
○		総合シミュレ ーション実習 I	学校敷地内、様々な場所にて外傷シミュレー ション実習を行い、救急活動に活かす。	3 前	90	2			○
○		総合シミュレ ーション実習 II	学校敷地内、様々な場所にて心肺停止シミュレ ーション実習を行い、救急活動に活かす。	3 前	90	2			○
○		総合シミュレ ーション実習 III	学校敷地内での様々な内容のシミュレーション 実習を通して、各疾患に対する救急救命処置を理 解し、隊の一員として、チームの中で活動できる ようにする。	3 後	90	2			○
合計				54 科目	2525 時間 (92 単位)				